農学部

Faculty of Agriculture

農学部 WEBサイト
www.tr.yamagata-u.ac.jp

森林管理に関わる現場で、働く力を身に付けていきます。

食料生命環境学科
エコサイエンスコース
4年 平山 希歩 さん
栃木県
白鴎大学足利高等学校出身

1年次に概論といった形で各分野に触れ、しっかりと学びたいことを決めてからコースを選択できるのが魅力です。「林政学演習」という講義では、自身で国の政策や考察について論評します。一見正しく見える政策の穴など、広い視野を得ることができました。

少子高齢化から生じる問題を、農学の視点から解決したい。

食料生命環境学科
エコサイエンスコース
4年 渡部 達己 さん
岩手県立
黒沢尻北高等学校出身

本コースは大学での演習林や環境整備の組織など、現地の環境や人と触れ合うフィールドワークを重視した学びが多いです。「森林組合論」という授業では、庄内地域の森林組合に伺い、現場の見学や農林水産省長官の経験のある方の講義など貴重な体験をすることもできました。

1週間のスケジュール（2年後期）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1			測量学		
2		応用力学			
3	林業経済学		森林GIS実習		林政学演習
4					
5					

1週間のスケジュール（3年前期）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	安全農産物生産機械学		森林環境保全学	地盤工学	
2		農業と農村の地理学	樹木の生態と生理	森林動物学	森林資源化学
3	農業水利学	住宅市場論	森林生態学実験実習		
4	森林社会論				
5					森林組合論

取得できる学位・資格

資格の取得には所定の要件を満たす必要があります。

学士（農学）

食の6次産業化プロデューサー（レベル3）
GIS学術士
食品衛生管理者及び食品衛生監視員（任用資格）
自然再生士補
測量士補
樹木医補

STRONG POINT

【山形大学農山村リジェネレーション共創研究センター】

複雑な地域課題に、大学全体で挑む。土地利用の再デザインから始まる、農山村再生への挑戦。

野生動物による被害、手入れが行き届かない森林、人口減少が進む集落、さらには人と動物に共通する感染症――。農山村が抱える課題は、一つひとつが複雑に関わり合い、簡単には解決できません。こうした現実に真正面から向き合うため、山形大学では2024年4月、全学的な教育研究組織として鶴岡キャンパスに「農山村リジェネレーション共創研究センター」を設置しました。このセンターでは、土地利用の再配置という考え方を軸に、森林資源の有効活用や野生動物管理の新しいあり方を探究しています。農業や林業、農村の経営などさまざまな分野の知見を組み合わせながら、農山村が抱える複雑な課題の解決に挑んでいます。地域の人々や現場と連携しながら、これからの農山村の姿を描き、持続可能な地域づくりの新しいモデルを生み出していきます。

Researchers! SDGsの先にある未来

データと対話で描く、持続可能な地域の未来。

農山村が直面する課題に対し、データに基づく合意形成と意思決定を支援する仕組みを研究しています。私たちの研究は、現場の計測データや統計に加え、ヒアリングやアンケートといった地域の人々の調査を重視するのが特徴です。現場の声と客観的数値を結びつけ、土地利用や制度導入などの正解がない問いに対し、納得感のある判断基準や比較可能な選択肢を提示します。最大の特徴は、単なる分析に留まらず、現場で運用できる実行可能な計画の提案を目指す実学的な姿勢にあります。データによって当事者の感覚と事実のズレを可視化し、対立を根拠ある建設的な議論へと変えることで、理論を現実に実装し、持続可能な地域づくりに貢献していきます。

農村計画学

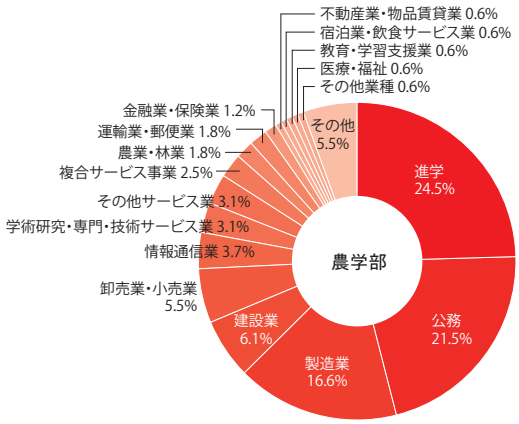
桒原　良樹 准教授

東京農工大学農学部卒業、東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了。博士（農学）。山形大学農学部プロジェクト教員、助教を経て、2021年より現職。

DATA 就職 & 進学データ（令和７年度実績）

※就職率データは、令和8年3月卒業生のものです。
※就職先・進学先は、過去3年間の実績（抜粋）です。

就職率 100%
（就職決定者／就職希望者）



就職

JA全農山形／JR東日本㈱／味の素食品㈱／一正蒲鉾㈱／越後製菓㈱／㈱大林組／カゴメ㈱／カルビー㈱／キユーピー㈱／㈱鴻池組／国分東北㈱／㈱七十七銀行／㈱竹中土木／㈱でん六／日新化工㈱／日新製薬㈱／㈱ニッスイ／日東ベスト㈱／日本食研ホールディングス㈱／日本地下水開発㈱／フジパングループ本社㈱／㈱不二家／㈱ブルボン／三菱商事ライフサイエンス㈱／三井物産フォレスト㈱／山形県農業共済組合／山崎製パン㈱／有人宇宙システム㈱／雪印種苗㈱／㈱良品計画／国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター／独立行政法人水資源機構／厚生労働省／国土交通省／東海農政局／東北地方整備局／東北農政局／農林水産省／北陸農政局／林野庁／(独)農林水産消費安全技術センター（FAMIC）／青森県／茨城県／岩手県／神奈川県／岐阜県／群馬県／静岡県／千葉県／富山県／長野県／新潟県／兵庫県／北海道／宮城県／山形県 他

進学

宇都宮大学大学院／信州大学大学院／筑波大学大学院／東京大学大学院／東京農工大学農学研究院／東北大学大学院／新潟大学大学院／福島大学大学院／山形大学大学院　他

就職率の推移｜令和5年 100%｜令和6年 100%｜令和7年 100%

農学部

入学試験

入学

食料生命環境学科

1年

大学生に求められる教養や人間力、専門教育の基盤となる学力を身に付けるとともに、農学の基礎を幅広く学びます。

専門基礎導入科目

前期必修科目

前期の必修科目では、農学とは?農学の面白さとは?を学びます。

·食料生命環境学入門
·先端農学
·基礎農学セミナー　など

後期必修科目

後期の必修科目では、3つのコースの概論を学びます。

·アグリサイエンスコース概論
·バイオサイエンスコース概論
·エコサイエンスコース概論　など

基盤共通教育科目

·スタートアップセミナー
·みずから学ぶ
·人間を考える·共生を考える
·山形から考える
·現代を生きる
·農学のための基礎生物学
·農学のための基礎化学
·農学のための数物基礎　など

2年

各コースにおける課題を解決するための基礎的な理論や技術を学びます。

コース選択

1年次の終わりに、「何を学ぶか」を選択。

自分の興味や適性に合わせて選んだコースで学びます

アグリサイエンスコース

園芸学の基礎 / 畜産学 / 食料生産経営学 / 農業政策と地域振興 / フィールド科学 / 食料生産基礎実験実習 など

バイオサイエンスコース

基礎有機化学 / 基礎動物生理学 / 基礎植物栄養生理学 / 基礎生化学 / 食品科学 / バイオサイエンスコース基礎実験 など

エコサイエンスコース

森林資源利用学 / 水理学 / 水文学 / 森林生態管理学 / 農村計画学 / 応用力学 / 測量学 など

〈選択必修科目〉

·基礎土壌学
·基礎農林経済学
·基礎生態学
·統計学基礎
·遺伝学　　など

PickUp

留学生・学生と地域の交流

お花見会(4月)

農学部構内の広場を利用して、農学部留学生サポーター&国際室によるお花見を実施しました。心地よい風に乗って舞い散る桜の花びらに包まれながら、留学生と日本人学生達は花見団子を食べたり、歓談をしたり、楽しい交流時間を過ごしました。

クリスマスバザー(12月)

鶴岡市内の商店街の一角にある古民家カフェをお借りして、日本人学生、留学生、地域住民約30名が参加し、クリスマスバザーを実施しました。バザーの後はチームで協働してゲームを楽しんだり、冬にまつわる曲をみんなで合唱したり、文化や言葉の垣根を超えて、交流を楽しみました。農学部では学生の約1割が留学生という環境を生かして、地域と連携したイベントや交流を通じ、国際的な学びを推進しています。

夏祭り(8月)

鶴岡市三瀬海岸で異文化交流を目的として夏祭りイベントを開催しました。流しそうめんやスイカ割りなどの日本の夏の風物詩を、留学生と日本人学生、海水浴場に訪れた地域の方々が一緒になって楽しみました。当日は天候にも恵まれ、約80人が参加しました。農学部留学生サポーターと三瀬地区との合同イベントは今回が2回目の試みです。

防災イベント(2月)

留学生と日本人学生、地域の方々が"災害"について共に学び、考えることを目的としたイベント『防災について学ぶ!考える!』を庄内地方で開催し、本学日本人学生、留学生、地域住民の約60名が参加しました。午前は山形県防災学習館で地震や煙からの避難を疑似体験し、午後は東日本大震災や庄内地域の災害に関する専門家の講話を聴講しました。午後の部の最後にはワークショップとして避難所運営ゲーム"HUG"を行い、"今、災害が起きたらどう動くか"、それぞれの視点から意見交換し、学びあう機会となりました。

3年 4年

どのコースでも専門性を深く追究するプログラム又は総合力を身に付けるプログラムで学ぶことができます。

履修プログラム選択
2年次の終わりに、学んだことを「どこで活かすか」を選択。

研究室仮配属
卒業研究を始めるにあたり、必要な基礎知識や技術、考え方などを学びながら、研究生活に慣れる。
※3年次の前期または後期。コースにより異なる。

研究室配属（指導教員の決定）
興味あるテーマを卒業研究に選び、これまで学んだ知識を応用し、深く掘り下げる。さらに、就職活動や大学院への進学などの勉強にも取り組む。

卒業研究の開始
卒業研究を通した課題解決型の人材を育成。

自分の将来を見据えて選んだ履修プログラムで学びます

専門分野について高度な知識を修得したい！ **基幹プログラム**	研究演習Ⅰ：卒業研究に必要な技法、文献調査の方法、学術論文の読み方などを学ぶ。 研究演習Ⅱ：専門知識のみでなく、論理的な思考方法も習得しながら、卒業研究をまとめる力を養う。同時に、プレゼンテーションによる発信力も身に付ける。など
グローバルに活躍したい！ **国際展開プログラム**	国際展開プログラム概論：農学研究の国際的事例や将来展望などについて学ぶ。 国際展開プログラム演習Ⅰ：農学の国際的な研究を英語で学び、卒業研究に必要な知識を身に付ける。など
地域の活性化に貢献したい！ **地域創生プログラム**	地域創生論Ⅱ：多方面で活躍している方を講師に招き、地域社会のニーズを把握する。 地域創生研究演習Ⅰ：研究テーマを見極め、地域社会の問題点を整理し、卒業研究の進め方について学ぶ。 など

卒業 → 大学院 / 就職

学科共通科目（2〜4年次）

〈選択科目〉
- ·国際展開セミナー
- ·雪山実習
- ·地域創生セミナー
- ·国際理解Ⅰ（海外研修）
  ※2·3年次の夏季休業中など主に長期休業期間を利用して実施
- ·学外実習（インターンシップ）

附属やまがたフィールド科学センター

エコ農業部門（高坂農場）、流域保全部門（上名川演習林）及び社会教育部門の3部門で構成されており、フィールド科学教育及び研究の拠点となっています。

エコ農業部門（高坂農場）

環境保全型汎用水田を有した耕畜、園芸生産を担う総面積24haの総合農場です。水稲栽培を基盤として、畜産と作物生産を有機的に結び付けた物質循環·環境保全型を確立し、環境に優しい持続可能な農業を目指した教育研究を行っています。なお、令和7年4月に管理棟を増築し、研究機器やレンタルラボの導入、共創スペースの整備を進めていく予定です。

流域保全部門（上名川演習林）

753haの森林のうち約80%をブナ主体の天然生落葉広葉樹林が占め、年最大積雪深の平均値が3mになる豪雪地帯です。森林生態系と積雪環境の相互作用や水循環及び物質循環に関する教育研究を行っています。

社会教育部門

左の2部門と連携し、体験学習、生涯学習及びリカレント教育を行うとともに、開発途上国の農業技術者の研修の受け入れ、国際連携研究などの国際貢献を担当しています。

農学部
3つのコース

本学部の教育課程は、学生が自分の興味や適性に合わせて選択する3つのコースカリキュラムと、自分の将来の進路を考えて選択する履修プログラムから構成されます。コース配属前となる1年次には、農学や農学の面白さ、3つのコースの概論などを学び、食料、生命、環境科学について総合的で幅広い知識を持つことを目的とし、農学の基礎全般を学びます。こうした基礎科目の履修を元にして、1年次の2月には、自分の興味や適性に合わせて、「何を学ぶかの選択」=「コース選択」をします。「アグリサイエンス」「バイオサイエンス」「エコサイエンス」の中から1つを選んだ後、2年次から配属となるコースでは、フィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色ある専門的な教育が行われます。

アグリサイエンスコース

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成。

環境を保全しながら、安全な農畜産物の生産を維持していくために、自然科学と社会科学の両面から、フィールド科学重視の学習を通じて、人や家畜、環境に優しい安全な農畜産物を安定的に生産するための専門的な知識や実践的な技術、農業経営やコミュニティビジネスの発展方策や地域活性化手法、食の安全を担保するフードシステムや循環型社会システム構築に関する理論や方策など幅広く学びます。

農業と農村の地理学

農村での農業と暮らしの調和を学ぶ。

渡辺理絵 教授

農業を基盤に形成された農村はいま、多くの課題に直面しており、限られた資源を総動員してたち向かっています。食農環境地理学では問題の所在を特定し、それぞれの地域に適した課題解決の方策を探ります。

バイオサイエンスコース

生命科学に関わる現場で活躍できる人材を育成。

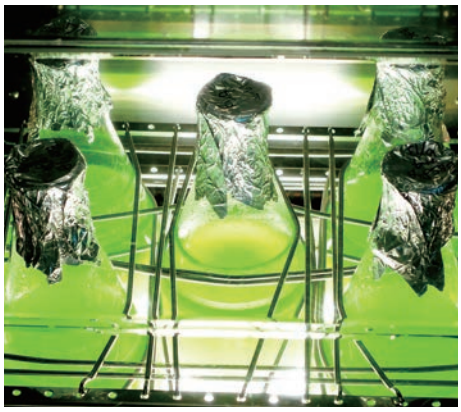
身の回りに存在する植物や高等動物、微生物などの多様な生物、及び食品や土壌などを対象とした教育・研究を行っています。生物がもつ生理機能の遺伝子やタンパク質、代謝物レベルでの解明と高度化利用、薬用植物や微生物、食品などに含まれる有用物質の探索、作物の進化や品種の多様性・類縁関係を究明するために、有機化学、生化学、分子生物学、動物生理学、植物栄養生理学、微生物学、食品科学などについて基礎から応用まで広範囲の領域を学びます。

応用細胞生物学

新しい農学に必要な知識や技術を学ぶ。

野村俊尚 准教授

気候変動や食料生産に関する課題が深刻化するなか、ゲノム編集技術を活用した品種改良など、次世代の農・食の創造が期待されています。本講義では、これらの基礎知識から最新動向までをわかりやすく学びます。



エコサイエンスコース

持続可能な自然環境の保全・利用に取り組む人材を育成。

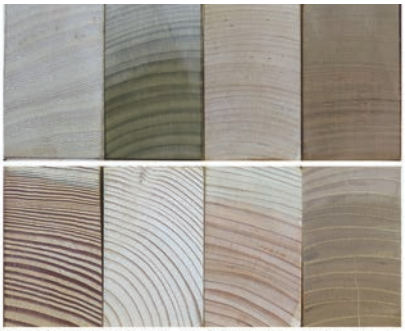
農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが生み出す恵みを享受しながら、将来にわたり持続可能な形で保全、利用、管理するための理論や技術を学びます。庄内地方の恵まれた自然的・地理的条件を最大限に活かしながら、山岳から奥山、里山、河川、都市、農村、海岸までの多様な自然と社会を対象に、フィールドワークを重視した教育を受けられます。

木材材料学

樹木の特徴から“木の丈夫さ”を学ぶ。

相蘇春菜 准教授

本講義は、木材組織学と木材物理学をベースに樹木が生産する木材の特徴を解説します。生き物としての樹木の特徴を知ることで、なぜ木材は“丈夫で強いのか”を説明できるようになります。



いろいろな樹種の木材の断面を集めました。それぞれの樹種がもつ様々な特徴の違いが見た目の違いに現れています。

3つの履修プログラム

コース配属後の1年間、各コースにおける課題を解決するための基礎的な理論や技術を学んだ上で、2年次の2月には自分の将来を見据えて「学んだことをどこで活かすかの選択」=「履修プログラム選択」をします。専門分野のより高度な知識の修得を目指す「基幹プログラム」、学んだ理論や技術を活かしてグローバルに活躍したい学生を対象とする「国際展開プログラム」、地域の活性化に貢献したい学生を対象とする「地域創生プログラム」から1つ選択します。基幹プログラムがそれぞれのコースに特化して専門性を高めるのに対し、国際展開プログラムと地域創生プログラムはコース横断プログラムになります。どのコースでも、専門性を深く追究するプログラム又は国際化や地域創生に対応した総合力を高めるプログラムを受けることができることが特徴です。

基幹プログラム

サイエンスを追求しながら、アグリ、バイオ、エコの各コースについて、それぞれの課題を解決するためのより高度な理論や技術を学びます。

研究演習 I・II

各コース担当教員

研究演習:卒業研究に必要な知識や技法、文献調査の方法、学術論文の読み方などを学びます。
研究演習II:専門知識だけではなく、論理的な思考方法も修得しながら、卒業研究をまとめる力を養います。同時にプレゼンテーションによる発信力も身に付けます。

国際展開プログラム

将来、国際的に活躍したい人を対象にしたプログラムです。世界の農業事情と先端研究を学ぶ講義、外国人留学生と交流する演習、海外交流校への留学などを通じ、国際的に活躍するために必要な専門技術、語学力、ならびに国際的感覚を身に付けた人材の育成を教育目標にしています。

国際理解 II

佐藤智 准教授

国際理解IIは、1か月以上の海外研修において、学生が主体的に課題を設定し、異文化交流や外国語使用を通じて学ぶ実習科目です。対話・探究・振り返りを重ね、国際理解と実践的思考力を養います。

地域創生プログラム

食や農を核とした地域振興のニーズにこたえるため、地域の活性化やその維持を実現するための、地域のマネジメント方法を学び、地域社会の課題解決を目指すような卒業研究に取り組みます。【地域社会のニーズの把握→研究課題の発見→卒業研究の実践】という学習プロセスを重視します。「食と農のビジネス論」の受講を通じ、食の６次産業化プロデューサーの資格取得も支援します。

地域創生論II

笹沼恒男 准教授

地域創生の様々な分野で活躍している方々から話を聞き、地域社会のニーズや課題、地域創生の現場での取り組みを学ぶ授業です。座学だけでなく、学生自身が地域のイベントを企画したり、参加したりする回もあり、実際の地域創生活動に関わることができます。

社会の高度化・複雑化に応える
5つの研究科と1つの専門職大学院

大学院

社会文化創造研究科

［社会文化創造専攻］の1専攻から構成され、社会文化システム、臨床心理学、芸術・スポーツ科学の3コースが設置されている。人文科学、社会科学、臨床心理学および芸術・スポーツ科学を核にしながら、人間社会を「社会」と「文化」の関係から捉え直し、地域的な展開を新たに創造・実践できる人材を育成する。

理工学研究科

博士前期課程は［理学専攻］［化学・バイオ工学専攻］［数理情報システム専攻］［建築・デザイン・マネジメント専攻］［機械システム工学専攻］に分かれ、各専攻における幅広い知識や技能を身に付け、応用する人材を育成する。博士後期課程では［地球共生圏科学専攻］［先進工学専攻］に分かれ、高度な専門職従事者としての知識と技能をもち、自立して活動できる人材を育成する。

有機材料システム研究科

［有機材料システム専攻］では、有機材料システム分野における技術を社会（地域）に実装するためのエンジンとなる学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を養成する。

医学系研究科

［医学専攻］［先進的医科学専攻］［看護学専攻］を設置している。現代の多様な課題を解決する力を持つ人間性豊かな医療人・研究者・技術者等を養成する。

農学研究科

［農学専攻］の1専攻で、この中に、幅広い研究分野を網羅した3つの領域（生物生産学、生物資源学、生物環境学）を設置している。これらの領域を基盤にし、今後の社会で活躍できる農学系の高度専門職業人の育成を目的とする。さらに、これらの領域を横断的、複合的に捉え、高度な知的能力を持ち、国際的に通用する人材の育成にも取り組んでいる。

教職大学院 教育実践研究科

「実践と理論の往還」による教員の養成と研修に特化した専門職大学院。先端的な理論の教育に加え、地域や社会が求める実践的な教育との懸け橋の役目を果たす。現職教員学生（社会人）と学部卒学生が、日々、学び合いながら、教職の高度な専門性を身に付けている。学部から大学院までの一貫教育を行う「チャレンジプログラム（6年一貫教育）」も設けている。

養護教諭特別別科［1年課程］

入学対象者 看護学校や看護短大および看護大学を卒業した方

取得できる免許 養護教諭一種免許状

本別科は1年課程の養護教諭（保健室の先生）養成機関です。
看護師の資格を有する人が養護教諭としての専門科目をはじめ教育学や心理学そして学校保健関連の単位を修得します。

授業紹介

1年間という限られた時間の中で、養護教諭としての専門科目はもちろん、教員となる上で必要な基礎的分野を学び実習も行われます。これらの学習を通して、学校における児童生徒の「養護」、そして学校保健活動の展開について、実際的に深く学ぶことができます。

一般教育科目	外国語コミュニケーション、日本国憲法、情報機器の操作　等
保健体育科目	体育Ⅰ・Ⅱ、スポーツ原理、トレーニング論　等
教職科目	教育原論、発達心理学、道徳教育の理論と実践　等
障害児教育関連科目	特別支援教育総論、障害児の発達
専門科目	衛生学、学校保健Ⅰ・Ⅱ、養護教諭論Ⅰ・Ⅱ、養護活動演習、健康相談活動論、学校における救急処置、栄養学・食品学　等

健康診断実習

実際に学生が計画・立案・実行する実習で5月に実施されます。山形大学小白川キャンパスで行われる健康診断を活用して学校における定期健康診断を体験します。

養護実習（教育実習）

3週間の養護実習が8月下旬から9月中旬にかけて実施されます。
山形市内の小中学校に実習校として配属されます。

［教員採用状況］

最近５年間の本別科修了生は、山形県、宮城県、岩手県、福島県、青森県、秋田県、北海道、新潟県、群馬県、栃木県、川崎市、東京都、埼玉県において養護教諭として採用されています。

国際交流・留学

詳細は
こちらから

山形大学は世界各国の大学･機関と学術交流協定を結んでおり、交換留学や交流の機会が開かれています。語学留学等で世界を体験する学生も少なくありません。また、海外から山形大学へやって来た留学生も多く、キャンパス内の国際交流も日常風景です。

山形大学の海外留学プログラム

「学生大使」派遣プログラム

本学の海外拠点校において、2~3週間程度、「学生大使」として滞在し、現地学生へ日本語を教えながら日本文化や山形大学を紹介する短期研修プログラムです。

各学部における短期派遣研修プログラム

各学部において、海外協定校等での1週間程度の研修プログラムを実施しています。一部プログラムは他学部からの応募も可能となっています。

山形大学短期派遣留学制度

本学と学生交流協定を締結している協定校へ、半年または1年間の交換留学を行う制度です。留学先の授業料はかかりません（語学研修等が必要な場合は別途授業料が発生します）。また、留学先で取得した単位を本学の卒業単位として認定することも可能です。

学内での国際交流

山形大学短期受入プログラム（STEP-YU）

本学と学生交流協定を締結している協定校から、半年または1年間の短期で外国人留学生を受け入れています。日本語や日本文化について学んでいる学生が多く、毎年約50名を受け入れています。

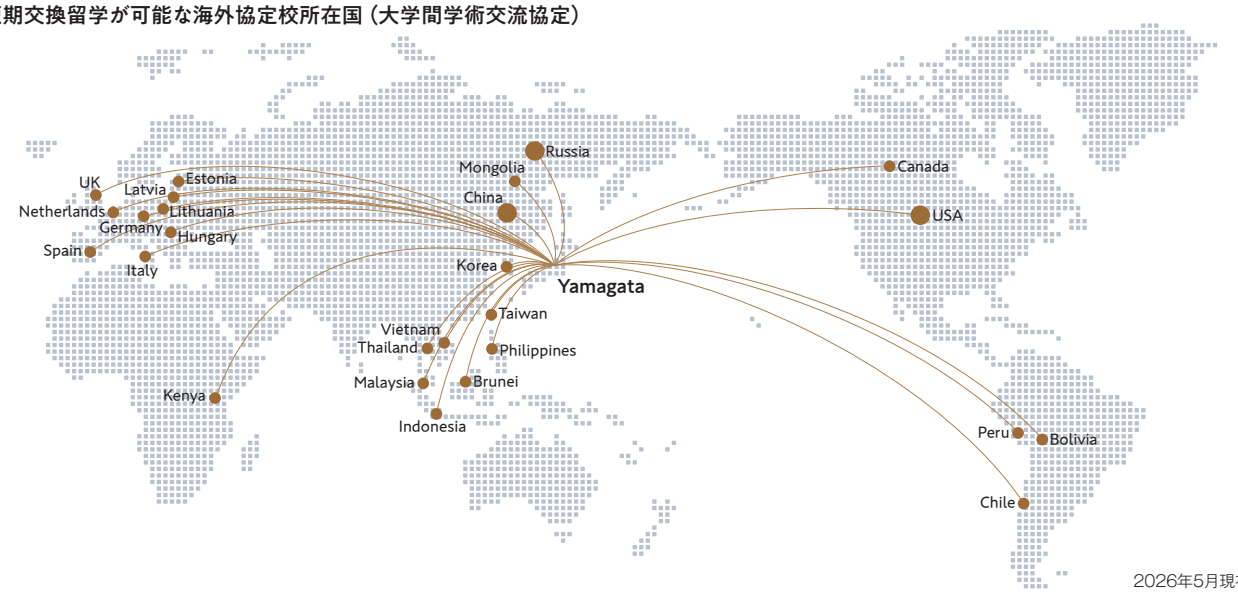
チューター制度

本学に留学している外国人留学生が早く馴染めるよう、日本人学生が学習･研究･日常生活に関する支援をする制度です。留学生と積極的に交流したい方や、留学生の出身国について深く理解したい方にはおすすめの制度です。

国際交流サークル

小白川キャンパス、米沢キャンパスでは国際交流サークルが活動しています。四季の行事や大学祭等のイベント等での交流等、様々な活動を行っています。
小白川キャンパス:IF（International Friendship）
米沢キャンパス:YUICY（Yamagata University International Circle in Yonezawa）

短期交換留学が可能な海外協定校所在国（大学間学術交流協定）



2026年5月現在

体験レポート　悔しさをバネに勉強の日々。学びに意欲的になることができた留学体験です。

地域教育文化学部　地域教育文化学科 文化創生コース 4年
中西 凜さん　茨城県立緑岡高等学校出身

私はリトアニアのビリニュス大学に1年間留学をしました。初めは先生の話していることが聞き取れず、ただ座っているだけの毎日でした。しかしその悔しさが私を突き動かし、図書館で授業の予習復習を含め必死に勉強しました。そうして過ごすうちに、少しずつ授業に慣れ、スラスラと論文が読めた時はとても嬉しかったのを覚えています。大学や寮生活、イベント等を通して多様な国の人たちと関わることができました。思い出はたくさんありますが、留学して一番良かったと思うことは、より意欲的に勉強に励むことができたことです。

学生サポート

学生サポート

各キャンパスに相談窓口を設置し、学生生活を修学面・生活面に限らず多方面からきめ細かく支援します。

アドバイザー制度

山形大学では、きめ細かな指導を行うため、学生の皆さんに対して責任を持って指導するアドバイザーが決められています。各学部の教員でもあるアドバイザーが修学面・生活面に関わらずさまざまな相談にのり、指導・助言を行います。

なんでも相談コーナー

小白川キャンパス学生センターに「なんでも相談コーナー」を設けています。日常生活のこと、勉強に関すること、その他さまざまな悩みごとなど、なんでも相談できますので、遠慮なく話しかけてください。相談内容に応じて、学生相談室や学内外の相談機関を紹介することも可能です。また、学生自身はもちろん、学生の父母等の皆様からも、直接ご相談を受け付けています。

保健管理センター

健康で充実した大学生活を送れるよう「健康管理・健康支援」を行っています。小白川キャンパスには医師と看護師、他キャンパスには看護師がおり、ケガ等の応急処置や心身の健康に関する相談等に応じています。

学生相談室

各キャンパスの学生相談室には、専門のカウンセラーが在中しており、学生の抱えるストレス、対人関係、性格、心身の健康その他心のお悩みについて相談に応じています。また、精神的な健康については、精神科学校医も相談に応じています。

キャリアサポートセンター

各キャンパスにキャリア・就職支援を専門に行う窓口を設置しており、学生一人ひとりへのきめ細かなキャリアサポートを行っています。

障がい学生支援

学部が中心となり、障がい学生支援センターや他の関連組織と連携を図りながら、大学全体で障がいのある学生の修学面をしっかりサポート。

障がい学生支援の詳細はこちらから

障がい学生支援センター

小白川キャンパスにある障がい学生支援センターでは、すべての学生が、障がいの有無にかかわらず、この山形大学で学びたいことを精一杯学ぶことができるよう、障がいのある学生への修学上の支援に関する相談対応や定期面談、学部等への助言、支援を担当する学生（YUハートサポーター）の養成・指導を行っています。障がい学生への支援にあたっては、学部、障がい学生支援センター、そして障がい学生本人と支援内容を十分に話し合い、密に連携を取りながら支援を実施します。

YU ハートサポーターの養成

障がい学生支援センターでは、障がい種ごとに支援技術養成講座を年に複数回開講しています。その講座に参加して支援技術を身に付けた学生（YUハートサポーター）が、空き時間を利用して障がい学生への支援を担当しています。障がい学生支援に関わることを通して、支援を利用する障がい学生もYUハートサポーターも互いに成長することが期待されます。

主な支援内容

区分	内容
共通	●授業や試験における支援や配慮に関する相談 ●授業担当教員への配慮依頼文書の作成・発行 ●ニーズに応じた情報機器等の利用支援
視覚障がい	●教材等のテキストデータ化及び拡大　●対面朗読、点訳、代筆 など
聴覚障がい	●手書きノートテイク、パソコンノートテイク、手話通訳 ●映像教材の文字おこし など
運動障がい	●アクセスのよい教室への変更及び机・椅子等の調整 ●学内移動支援、ポイントテイク　●駐車スペースの確保 など
内部障がい	●（慢性疾患等）定期通院等による欠席の配慮、ロッカー貸与、移動補助など
発達障がい	●個別相談・定期面談対応、課題提出期限の猶予、別室受験など
精神障がい	●定期通院等による欠席の配慮、途中入退室の許可、課題提出期限の猶予など

※具体的には、面談を行い、個々のニーズに応じて決めていきます。
※現在、聴覚障がい学生への情報保障支援体制は徐々に整備しているところです。

各種保険

学生生活の安心を支える保険を完備しています。

保険関係の詳細はこちらから

学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）

正課中、学校行事中、課外活動中及び通学・施設間移動中における急激かつ偶然な外来の事故によって、身体に障害（ケガ）を被った場合に補償される保険です。安心して教育をうけられるよう全員が加入することになっています。

区分	内容
正課中	講義、実験、実習、実技等の授業
学校行事中	入学式、オリエンテーション、卒業式、大学祭等各種学校行事
課外活動中	授業以外に行う、大学公認の学生団体の文化及び体育活動中
通学・施設間移動中	住居と大学施設の往復、学校行事等による施設間の移動等
臨床実習中（医学部のみ）	接触感染に対する感染症予防措置を受けた場合

学研災付帯賠償責任保険（略称：付帯賠責）

「学研災」に加入している場合は、この「付帯賠責」にも加入でき、本学では「学研災」とセットで加入いただいています。この保険は、以下の活動中の事故等により、他人にケガを負わせたり、他人の財物を損壊したこと等により法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について補償されます。

保険名称等	学生教育研究賠償責任保険（学研賠）	医学生教育研究賠償責任保険（医学賠）
活動内容	●正課・大学行事及びその往復 ●インターンシップ、介護等体験活動、教職資格活動、教育実習、保育実習、ボランティア活動及びその往復 （ただし、大学が正課、学校行事及び課外活動として認めた場合による。）	
対象	医学部を除く学部の学生	医学部の学生
補填限度額	対人賠償と対物賠償を合わせて1事故につき1億円程度 （※免責金額0円）	

寮・アパート

学生寮での暮らし

詳細は
こちらから

学生寮は見学が可能です(平日のみ)。寮によって見学可能時間が異なりますので、事前に見学希望日時をご連絡ください。

名称	清明寮	北辰寮	紫苑寮	白楊寮	啓明寮
対象	人文社会科学部・地域教育文化学部(教育学部)・理学部・医学部・社会共創デジタル学環・工学部昼間コース1年次・農学部1年次			工学部昼間コース2年次以上・工学部フレックスコース	農学部2年次以上
	小白川キャンパス履修者・飯田キャンパス履修者			米沢キャンパス履修者	鶴岡キャンパス履修者
定員	男子213名・女子87名	男子80名	女子80名	男子210名・女子40名	男子36名・女子35名
寄宿料(月額)	18,000円	4,300円	12,000円	27,000円	18,000円
所在地	山形市大字平清水99	山形市東原町4-18-31	山形市香澄町2-10-18	米沢市太田町4-1-2	鶴岡市若葉町12-4
キャンパスまでの距離	小白川キャンパスまで3.2km	小白川キャンパスまで700m	小白川キャンパスまで2km	米沢キャンパスまで600m	鶴岡キャンパスまで500m
建築年	2001年	1980年	1977年	2019年	2013年改修
主な設備	ユニットバス(トイレ付)、ミニキッチン(IH)、冷暖房エアコン、給湯(電気)、高速無線LAN(無料)、机・イス、ベッド、衣類用ロッカー	冷暖房エアコン	冷暖房エアコン	ユニットバス(トイレ付)、ミニキッチン(IH)、冷暖房エアコン、給湯(電気)、高速無線LAN(無料)、洋服ダンス、本棚	ユニットバス(トイレ・ウォシュレット付き)、冷暖房エアコン
共同利用の設備等	面会室、談話室、洗濯室(コインランドリー)	風呂、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯室(全自動洗濯機、乾燥機)、リビング(談話室)	風呂、トイレ、台所、冷蔵庫、洗濯室(全自動洗濯機、乾燥機)、リビング(談話室)	食堂、交流室、面会室、洗濯室(コインランドリー)、自動販売機コーナー	ラウンジ、面会室、洗濯室(コインランドリー)、倉庫、トイレ、自動販売機コーナー
1ヶ月あたりの概算経費	約33,000円 寄宿料:18,000円 光熱水費:約15,000円 (共同負担分を含めた個人負担額)	約19,300円 寄宿料:4,300円 光熱水費:約15,000円 (共同負担分を含めた個人負担額)	約27,000円 寄宿料:12,000円 光熱水費:約15,000円 (共同負担分を含めた個人負担額)	約33,000円~62,700円 寄宿料:27,000円 光熱水費:約6,000円 食費(希望者):29,700円	約28,000円 寄宿料:18,000円 光熱水費:約10,000円

※学生寮のデータは、令和7年度のものです。※寄宿料(月額)に食費や光熱水費等は含まれておりません。※学生寮はすべて個室です。※白楊寮では希望者のみ朝夕の食事を提供(食費別途)。
【入寮者の募集時期／各寮とも令和7年度4月からの入寮に合わせて毎年2月以降(欠員が生じた場合はその都度入寮募集)、白楊寮は前年度4月以降】

寮に関する
Q&Aは
こちらから

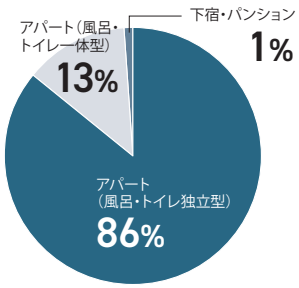
準学生寮

準学生寮とは、山形県、山形市、山形県住宅供給公社(以下「公社」)、山形大学、東北芸術工科大学が連携して、山形市の中心市街地の空き家・空きテナントを学生用シェアハウス等にリノベーションし、公社が管理する賃貸住宅です。現在、準学生寮は、山形大学の小白川キャンパスが所在する山形市の5か所に設けられています。

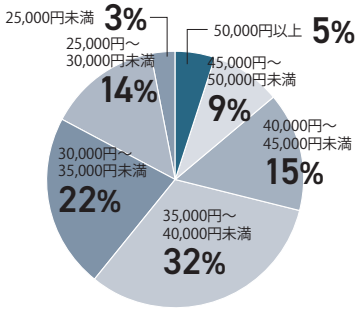
準学生寮の
詳細は
こちらから

アパートでのひとり暮らし

山形大学生のアパートの内訳



山形大学生が住む賃貸物件の家賃帯



※山形大学生活協同組合調べ(2026年)

アパート費用(月平均)	
家賃	約36,500円
敷金	家賃の1~2ヶ月
礼金	家賃の0~1ヶ月
仲介手数料	家賃の0~1ヶ月

光熱水費(月平均)	
電気代	約5,900円
ガス代	約5,200円
水道代	約3,300円
インターネット	無料~約4,000円

アパート探しや新生活準備は山形大学生協で

山形大学生協では、山大生の皆さんが充実した大学生活を送れるよう、現役山大生である先輩アドバイザーと生協職員が協力して新生活準備をサポートしています。お部屋探し、家具や教材の購入、大学生協・共済等の加入手続を行えます。現役山大生の話を聴きながら新生活準備を行うことで、実際の大学での生活をイメージできます。

アパートを探す

山形大学生活協同組合
住まいの事業部
TEL:023-641-4380
e-mail:ymgt.sumai@univ.coop

アパートなどを探す

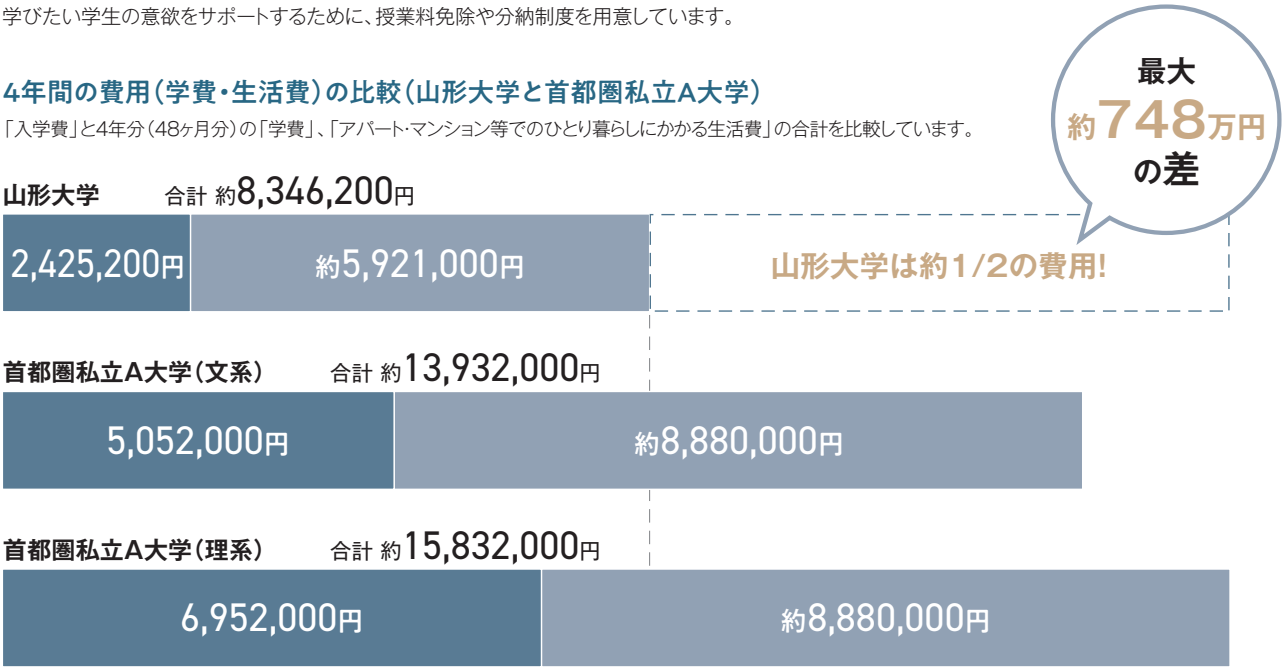
山形 宅建 検索
山形県宅地建物
取引業協会

学費

学びたい学生の意欲をサポートするために、授業料免除や分納制度を用意しています。

4年間の費用（学費・生活費）の比較（山形大学と首都圏私立A大学）

「入学費」と4年分（48ヶ月分）の「学費」、「アパート・マンション等でのひとり暮らしにかかる生活費」の合計を比較しています。



※「第61回（2025年）学生生活実態調査（データ集）山形大学生協調べ」
首都圏私立大学のデータは令和8年5月現在、ホームページや大学パンフレットを参考に記載したものです。

入学料

全学部・学環　282,000円（予定額）※工学部フレックスコースは半額

授業料

全学部・学環　535,800円（予定額）※工学部フレックスコースは半額

授業料の納付方法

山形大学では、授業料の納付回数を選択できます。本学の授業料は、皆様の希望に応じて右記の4パターンから選択して納付していただきます。

授業料年額：535,800円（予定額）

納付回数	全学部・学環　※工学部フレックスコースは半額
年1回払い 1年間分の授業料を4月に振替	535,800円
年2回払い 前期4月、後期10月に振替	267,900円×2回
年10回均等払い 4~8月、10~2月に振替	53,580円×10回
年10回ボーナス併用払い 年10回払いで、前期8月、後期1月にボーナス分を加算して振替	4~7、10~12、2月 26,790円×8回 8、1月 160,740円×2回

学費の免除等

山形大学は、文部科学省が令和2年4月より運用している「高等教育の修学支援新制度」の対象機関であり、意欲ある学生に対する入学料・授業料の免除及び減額を実施しています。免除及び減額の適用を受けるには、本制度にて給付奨学生として採用される必要があり、免除額等は給付奨学金の支援区分に応じて決定されます。また、「多子世帯に対する大学授業料等の無償化」による支援を希望される方も給付奨学金への申請は必須となり、その申請を通じて多子世帯の審査が行われ、採用となれば授業料等無償化の対象となります。

日本学生支援機構 給付奨学金

文部科学省 修学支援新制度

教科書・参考書の販売

〈山形大学生協でサポート〉

大学生は自分で講義を選択し履修登録を行い、教科書を揃える必要があります。山形大学生協では学生の皆さんに必要な教科書を準備できるよう事前に教職員に、講義で使用する教科書について聞き取り調査を行い、必要な教科書を揃えています。4月・10月に教科書特設会場を設置し、教科書販売を行っております。

各学部での1年生4月目安購入額	
人文社会科学部	約20,000円~約22,000円
地域教育文化学部（教育学部）	約22,000円~約24,000円
理学部	約21,000円~約23,000円
医学部医学科	約10,000円~約12,000円
医学部看護学科	約21,000円~約23,000円
工学部	約15,000円~約17,000円
農学部	約10,000円~約12,000円

奨学金制度

学業·人物ともに優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難な方に対して、日本学生支援機構、地方公共団体等からの奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金

申込みは在学している高等学校等の奨学金窓口を通して行うことができます。申込みの詳細や提出期限は、在学している学校へお問い合わせください。また、大学に入学してから申し込むこともできます。

給付型奨学金

住民税非課税世帯又はそれに準ずる世帯で意欲がある学生に対して、大学等への進学や進学後の経済状況を後押しするための、返還が不要な給付型の奨学金です。別途、大学に申請を行うことで、授業料等の免除も同時に受けることができます。

区分	給付金額（月額）	
	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分	約29,200円（33,300円）	約66,700円
第Ⅱ区分	約19,500円（22,200円）	約44,500円
第Ⅲ区分	約9,800円（11,100円）	約22,300円
第Ⅳ区分（多子世帯）	約7,300円（8,400円）	約16,700円

※カッコ内は生活保護世帯等の金額

貸与型奨学金

大学·短期大学·高等専門学校·専修学校（専門課程）及び大学院で学ぶ人を対象とした、貸与型の奨学金です。これまで多くの先輩たちが利用してきました。奨学金は、学生が自立して学ぶことを支援するために学生本人に貸与されます。奨学生が返還するお金は、次の世代の奨学金として使われ、先輩から後輩へとリレーされていくものです。これらを理解し、有効かつ計画的に利用しましょう。

種類		貸与金額（月額）
第一種奨学金（無利子）	自宅通学	20,000円·30,000円·45,000円から選択
	自宅外通学	20,000円·30,000円·40,000円·51,000円から選択
第二種奨学金（有利子）		20,000円～120,000円までの間で1万円単位で選択

※貸与金額（月額）は、令和7年度のものです。

山形大学独自の奨学金

山形大学山澤進奨学金

公益財団法人ヤマザワ教育振興基金代表理事·山澤進様から、山形大学の発展と地域振興のために役立ててほしい、とのお申し出により寄せられた奨学金を基に創設した修学資金支援制度です。学業が優秀で、かつ経済的理由により山形大学への進学が困難な方で、卒業後、山形県の地域振興に貢献してくださる方を、選考により奨学生として採用します。申込みは在学している高等学校等の奨学金窓口を通して行います。

月額	サポート期間	人数
50,000円	4年間（医学部医学科は6年間）	最大8人

※入学料及び授業料を免除。

YU Do Best 奨学金

優秀な学生に、存分に勉学に励み、そして安心して生活できる教育·研究環境を提供するため、選考により奨学金を支給します。

月額	サポート期間	人数
30,000円	2年間·学部3年生、4年生（医学部医学科は5年生、6年生）	10人程度

山形大学修学支援事業学生支援奨学金

経済的理由により、一時的に授業料等の支払いが困難になった学生に対し、申請により、30万円を上限として、貸出しを行う奨学金制度があります。

※その他奨学金として、自治体や民間財団が実施している奨学金があります。
財団等の奨学金は給付型（返還なし）もあり、大学進学前に高校予約型に採用されれば、入学から卒業時まで奨学金を得ることもできます。情報収集により条件が合えば多額の奨学金が受給できる場合があります。

※奨学金の対象者·選考方法など、詳しくは本学ホームページ（学生生活のページ）でご確認ください。また、ここで掲載した奨学金以外にも、山形大学学生が応募しているものとして「インテグリスSTEM奨学金」「日揮·実吉奨学会」などがあります。山形大学では募集があった民間等の奨学金情報を随時ホームページに掲載しています。

詳細はこちらから

就職支援プログラム

山形大学は就職に強い

就職率 100%!!※

本学では学生のキャリア・就職支援を専門に行う「キャリアサポートセンター」を設置し、学生一人ひとりへのきめ細かなキャリアサポートを行っています。学年や時期に応じた情報提供、各種就職セミナーはもちろん、マンツーマンでのキャリアカウンセリングの体制も整っています。またオンラインでの支援も充実しています。

※令和8年3月卒業生の就職率（就職決定者／就職希望者）

就職も進学も多様な進路が選択できる

民間企業 573名

公務員・教員 256名

臨床研修医・看護師等 148名

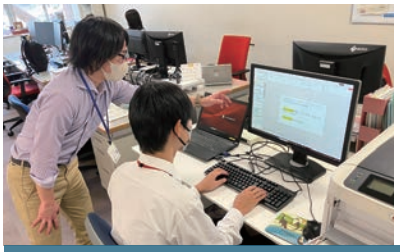
進学 541名

※就職・進学者数は令和8年3月卒業生の実績です。

進路選択、就職活動対策

就職対策セミナー

自己分析・業界研究・面接対策。就職活動に必要な知識を基礎から学びます。他では得られない山形大学生に特化した内容が好評です。



事務系インターンシップ・技術系インターンシップ

授業として大学が斡旋する約150機関から選択し、5日間以上の現場実習（職業体験）を行います。将来を見据え、身に付けた知識や能力を試します（2・3年次夏）。事務系インターンシップだけでなく、技術系インターンシップも充実しています。

内定塾

自己分析やエントリーシートの書き方、面接対策などを、段階的に進めていくシリーズセミナーです。少人数指導でじっくり就職活動の準備ができます。

実践型就職対策講座

1日で必要なスキルを実践形式で体得します。自己PR作成から面接練習まで少人数で集中して対策を行う、実力と自信がつく講座です。

個別就職相談（キャリアカウンセリング）

進路選択についての相談、就職活動の応募書類の添削や面接練習をしたい！という声に応えて、個別相談体制が充実しています。オンラインでの相談も実施しています。

就職支援・キャリア支援の情報はこちらから

山形大学での就職活動状況を知りたい人は、キャリアハンドブックwebサイトにアクセス!

就職支援の流れ

学年	1~2年次	3年次	4年次
就職支援プログラム	自己理解を深め、将来の進路を考えていくために、全学部生が履修できる「キャリアデザイン」「プレインターンシップ」「仕事の流儀」など、様々な授業を開講しています。授業を通して、本学の卒業生や社会人の方からお話を聞くことで、働くことがイメージできるような内容も充実しています。	各種就活ガイダンス 各種就職対策セミナー 内定塾・実践型就職対策講座	地域就職応援セミナー 個別継続支援
	個別就職相談(キャリアカウンセリング)・個別面接指導		
	オンライン面接用の個室・機材貸出		
	企業及び自治体との学内交流会		
その他		大学生協と連携した 公務員試験対策・教員採用試験対策講座	

→ 自分にあった進路・就職の実現

公務員・教員採用試験対策

公務員講座ガイダンス

公務員を目指すために必要な知識や対策を学びます。3年次の春から試験対策を始める学生が多いので1·2年生対象に冬に開催します。

教員採用試験 面接対策セミナー

教員志望の学生向けに特化した面接セミナーを開催しています。試験を受ける機関を想定し、過去の出題例も踏まえ対策をします。

山形大学生のための OB・OG 訪問サイト

本サイトは、実際にOB·OG訪問をしているかのように、会社/仕事紹介や後輩へのアドバイスなどを動画で視聴することができるサイトです。OB·OGの出身学部(研究科)·業種·職種·本社所在地から動画を探すことにより、OB·OGとの出会いを通じて様々なキャリアに触れることができます。

Point 1 山形大学の先輩の就活アドバイス(動画)が一度に聞ける!

Point 2 自分の所属する学部の先輩から、仕事の魅力を教えてもらえる!

Point 3 先輩との出会いから、企業選びの選択肢が広がる!